



断熱玄関引戸

ストライク調整方法

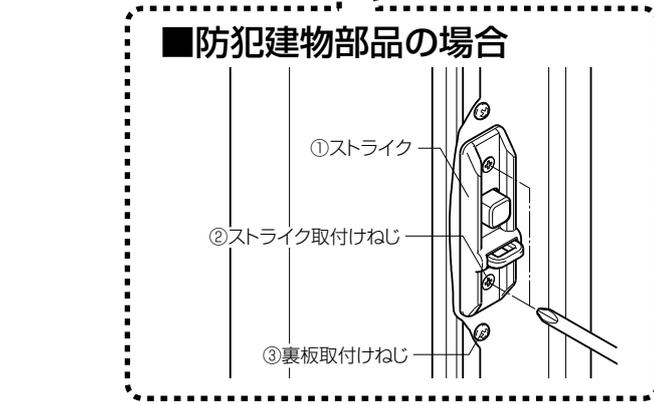
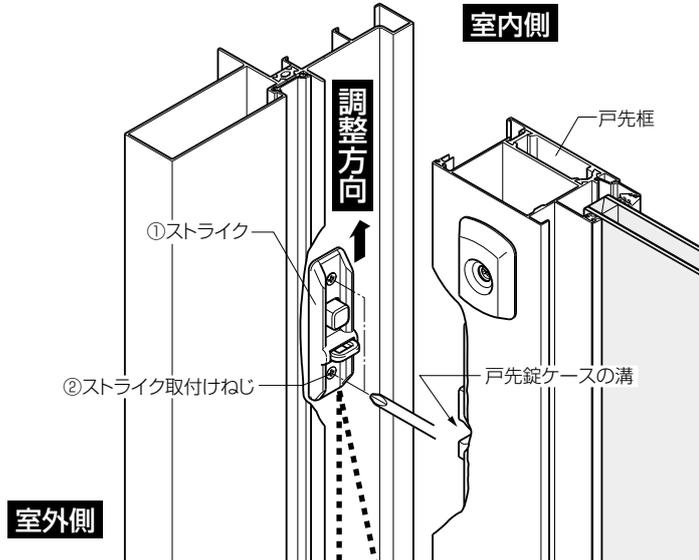
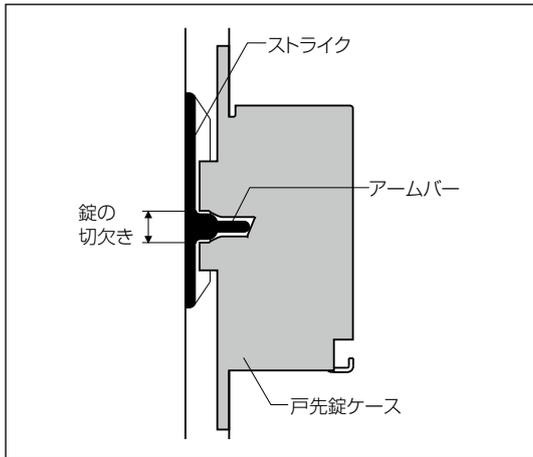
■ストライクの調整方法

1 上方向の調整

- 引手錠がかりにくい場合やラッチがかりにくい場合は、ストライク取付けねじを上下2カ所ともゆるめ(防犯建物部品の場合は、③裏板取付けねじ2カ所もゆるめ)、①ストライクを上へ調整してください。(調整幅：上方向5mm)
- 調整後、すべてのねじを元通りに締めてください。
- ※障子を少し開けた状態でアームバーが錠の切欠きの中心にくるように調整してください。

お願い

※裏板取付けねじを緩めすぎないでください。裏板取付けねじを緩めすぎると裏板が脱落し、ストライクが取付けられなくなるおそれがあります。



2 出方向の調整

- 上方向の調整をしても、錠がかりにくい場合やラッチがかりにくい、又はラッチ解除がたい場合は、②ストライク取付けねじを上下2カ所ともゆるめ、③錠受けスペーサー(枠に同梱)の裏表を確認して枠と①ストライクの間に差込んでください。(調整量：1枚で約1mm)

※1つのストライクにつき最高で4枚まで入りますが、できるだけ少なくしてください。入れすぎると気密材が当たらなくなり、気密性能の低下やストライクの破損、又は召合せ錠がかからなくなったりするおそれがあります。

